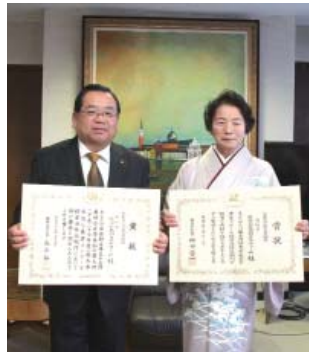


## 表彰受賞おめでとうございます



栃木県元気な農業  
コンクールとちぎ元気大賞  
大島カルチファーム

平成 25 年から法人化し、  
10 人の仲間と共に水稲・麦・  
大豆・そばの栽培を大規模に  
行い、農業経営の改善に顕著  
な成果をあげた。



地元塩田行政区と西小学校の  
児童の皆さん

田んぼまわりの生きもの  
マップコンテスト優秀賞  
湧水の郷塩田環境保全会

子どもからお年寄りまで地  
域の多世代がともに活動し、  
農業の多面的機能の維持・発  
揮を図る地域活動マップを通  
じて PR したことが評価された。

## 1/24 (日) 介護保険制度を学ぶ

文化会館小ホールで、矢板市介護サービス事業者連絡協議会主催の「市民公開講座」が開催されました。これは、劇などを通して、市民の皆さんに「介護保険制度」への理解を深めていただくことを目的として行われたものです。

初めに介護保険で利用できるサービスの説明があり、次に寸劇を交えながら「実際に介護保険を利用するにはどうすればよいのか」が紹介されました。さらに医師から「認知症の早期診断の勧め」「かかりつけ医の重要性」について話され、専門家から話を伺う貴重な機会となりました。



## 1/24 (日) 片岡・新春講演会

片岡公民館で「第 37 回片岡地区コミュニティ新春講演会」が開催されました。今年のテーマは「地域医療・福祉の充実に向けて」。

講演では、県地域包括・在宅介護支援センター協議会の浜野修会長から「介護保険制度と利用の仕方」について話されました。また、パネルディスカッションでは、市内外で高齢者を支える取り組みを行う皆さんによって「生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加」について話し合われ、参加者は真剣に聞き入っていました。



## 1/29 (金) 塩谷地区農業教育連絡協議会設立

矢板高校で、塩谷地区農業教育連絡協議会の設立総会が行われました。この会は、地域農業を学ぶ生徒たちが、将来の農業担い手となり、定住し地元で活躍していけるよう支援するため、塩谷地区の先進農業者・関係機関・矢板高校が手を取り合い設立したものです。具体的には、先輩農業者から多くのことを学べるよう実際の現場でのインターンシップや、デュアルシステム等の受け入れなどを積極的に行っていきます。

事務局の橋本教諭は、「皆さんと協力しながら、地元の農業に感心を持つ生徒を増やしたい」と話していました。



## 1/31 (日) 公民館講座生の祭典

矢板文化会館周辺で、30 日（土）から 2 日間にわたり、「フェスタ inYAITA」が開催されました。このイベントは、主に矢板公民館と農村環境改善センターを拠点に活動している市民講座生徒による作品展示や演奏発表会、各種体験教室などが同時に行われているものです。このほか、講座生の手作りクッキーやおでん、ふるさと創年大学の皆さんによるつきたてのお餅の販売が行われました。

開催前日から降っていた雪の影響も心配されましたが、多くの方が会場を訪れ、イベントを楽しんでいました。



## 2/2 (火) 木の駅プロジェクト始動

市内工場で、「木の駅プロジェクト」へ向けた木材の搬入試験が行われました。この取り組みは、山林に残された間伐材などを引き取り、地元商店で利用できる地域通貨券に換えるもので、山林の荒廃解消や商店街の活性化を目的としています。集められた間伐材は、工場で木製チップに細断され、バイオマス発電などに利用されます。

今後は、4 月に実行委員会を立ち上げ、具体的な策を詰めていく予定とのこと。参加者は「山がきれいになって、さらに街が活性化すれば言うことはない」と話していました。



## 2/4 (木) 数え 15 歳の決意を胸に

文化会館大ホールで、矢板中学校の「立志式」が行われました。立志式とは、昔の元服式にちなみ満 14 歳を迎える中学 2 年生が対象で、生徒たちが将来に対する自己責任と自覚を持ち、志を立てることを目的とした行事です。式典では、代表の生徒から将来の夢やこれからの学校生活への抱負などの誓いのことばが述べられました。

式典の後には、記念行事として、宇都宮工業高校の吹奏楽部による演奏も行われました。

【中学校 2 年生の生徒数：矢板中学校 193 人、泉中学校 29 人、片岡中学校 83 人】

